

第37回

千葉東洋医学シンポジウム

会長:横須賀 收 先生(千葉大学大学院医学研究院 腫瘍内科学 教授)

当番幹事:巽 浩一郎 先生(千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学 教授)

日時:平成24年 3月 10日(土) 15:00-18:00

場所:アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 東京ベイ幕張ホール2F

千葉市美浜区ひび野2-3 TEL:043-296-1111

テーマ:『癌治療における漢方薬の役割』

● 開会の辞 千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学 教授 巽 浩一郎 先生

シンポジウム (15:00-16:00)

座長:千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学 教授 巽 浩一郎 先生
千葉大学大学院医学研究院 和漢診療学 准教授 並木 隆雄 先生

- ①「乳がん患者のホルモン療法における漢方薬の役割」
千葉大学大学院医学研究院 和漢診療学 特任助教 岡本 英輝 先生
- ②「緩和ケアにおける漢方治療の有用性 -十全大補湯が有効であった2症例-」
千葉大学医学部附属病院 緩和ケア支援チーム 田口 奈津子 先生
- ③「消化器癌術後患者の食欲不振に対する六君子湯の効果」
東邦大学医療センター佐倉病院 外科 講師 大城 充 先生
- ④「大腸癌患者の化学療法(FOLFIRI)における遅発性下痢に対する
経口アルカリ化剤と半夏瀉心湯の効果に関する検討」
千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学 講師 宮内 英聡 先生

【総合討論】

<休憩> 16:00-16:20

特別講演-1 (16:20-17:10)

座長:千葉大学大学院医学研究院 生殖機能病態学 教授 生水 真紀夫 先生
「婦人科がんにおける漢方薬の役割」

岩手医科大学医学部 産婦人科学 主任教授 杉山 徹 先生

特別講演-2 (17:10-18:00)

座長:千葉大学大学院医学研究院 腫瘍内科学 教授 横須賀 收 先生
「癌治療と注目される漢方薬の役割

—診療ガイドラインにおけるエビデンスを目指して—

札幌医科大学 外科腫瘍学・消化器外科治療学 教授 平田 公一 先生

● 閉会の辞 千葉大学大学院医学研究院 腫瘍内科学 教授 横須賀 收 先生

参加費:1,000円(学生は無料)

※終了後 情報交換会を予定しております。

共催:千葉東洋医学シンポジウム、株式会社ツムラ

後援:千葉県医師会(予定)、千葉市医師会、千葉県薬剤師会

※本シンポジウムは千葉県医師会生涯教育講座として3単位が承認されております。

【カリキュラムコード:18全身倦怠感、21食欲不振、54便通異常、62歩行障害、81終末期のケア、83相補・代替医療(漢方医療を含む)】

弊社個人情報保護への取り組みは、ツムラHP <http://www.tsumura.co.jp> でご確認ください。

お問合せ先:(株)ツムラ 千葉第一営業所 TEL:043-297-0770 FAX:043-297-0830 (担当:嶋田)